

《参考図書を使って神戸の統計を調べる！！》

参考図書（reference book）とは…

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典、辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。

図書館では、これらの本は館内での利用のみとし、必要な時にいつでも調べられるようにしています。



0013

32

『神戸市統計書』

神戸市企画調整局企画調整部総合計画課編 神戸市発行
1907年（明治40年）刊～

人口、気象、産業、文化など各分野にわたって、神戸市に関係する基本的な統計を収録しています。幅広く重要な統計を集めているので、概略を知るのに便利です。目次を参考に必要な項目を探します。各統計表の右上に出所機関が、左下に出典が記載されています。より詳しく調べたいときは、参照してください。

中央図書館では、第1回明治38年（1907年刊）から所蔵しています（欠号があります）。明治、大正など昔の統計を探す場合にも役立ちます。

神戸市のホームページでも、3年分公開されています。他の統計や月ごとの速報版「データこうべ：月別各種統計表」などもあります。刊行物を発行せず、ホームページでのみ公開される行政資料も多くなっています。

神戸の統計 <http://www.city.kobe.lg.jp/information/data/statistics/toukei/index.html>

（ 神戸市 HP → 暮らしの情報（総合メニュー） → お役立ち情報（統計） → 神戸の統計 ）

『神戸市統計書』で調べてみました ①

問 神戸市の過去50年について、人口の推移が知りたい。

答 『神戸市統計書 第91回平成26年度版』の「3-1.人口の推移」に、明治22年（1889年）からの世帯数、人口が一覧で掲載されています。「3-2.面積、世帯数及び人口等」には、区別に直近の5年間と昭和25年から平成17年まで、5年ごとの統計が掲載されています。

『神戸市統計書』で調べてみました ②

問 神戸の物価は他の都市に比べて高い？安い？

答 『神戸市統計書 第91回平成26年度版』の「15-7.消費者物価地域差指数」に、都道府県庁所在市及び政令指定都市など51市の平均を基準(=100)とした、年平均の指数が掲載されています。平成25年を見ると、最高値は横浜市の106.0、2番目は東京都区部の105.9、最低値は北九州市の96.6、神戸市は102.2で6番目となっています。京阪神3都市では、総合指数、食料指数とも食い倒れの街大阪を超え神戸市が最も高くなっています。

～ こんな本でも調べることができます ～

『国勢調査報告』

総務省統計局

5年ごとに国(総務省統計局)が行っている人口・世帯調査の結果をまとめたものです。大正9(1920)年から実施されました。都道府県・市区町村編が、地域ごとに12分冊されていて、兵庫県は⑧近畿Ⅱ。

『兵庫県統計書』

兵庫県企画県民部統計課編

兵庫県に関する基本的な統計を収録したものです。市区町別にみられる項目もあります。巻末の付録に歴代兵庫県知事の一覧や市町村合併経過などが掲載されています。

『神戸市統計報告』(平成7年～)

神戸市企画調整局企画調整部総合計画課編

国勢調査、工業統計調査などの各種調査から神戸に関する集計・分析結果が掲載されています。『統計情報』(昭和23年刊)、『神戸市統計月報』、『統計神戸』、『神戸市統計報告』と誌名が変遷しています。内容は特集記事の一覧を見てください。 ※2階・ふるさと文庫の雑誌の棚にあります。

調べてみよう!!

- 昨年、神戸市で雪の降った日は何日あった？
- 神戸市の鉄道の駅で、一番利用されている駅は？
- 神戸市では、キャベツと小松菜どちらの畑が広い？
- 明治40年に、市議員は何人いたの？



神戸市や兵庫県に関する資料は、中央図書館2階「神戸ふるさと文庫」へお越しください。紹介した統計書は、行政資料の棚(書架分類「Y」兵庫県行政資料、「Z」神戸市行政資料)や統計の棚(書架分類【351】【358】)を探すといいですよ。場所がわからないときは、カウンターの人にきいてくださいね。